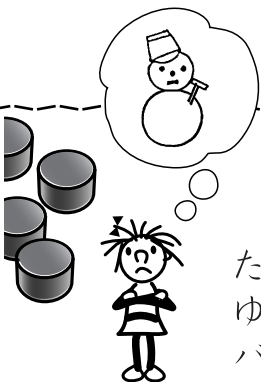




10この雪だるまとバケツ  
 玉の仲立ちによる計数  
**4056**  
 ©Ateamland

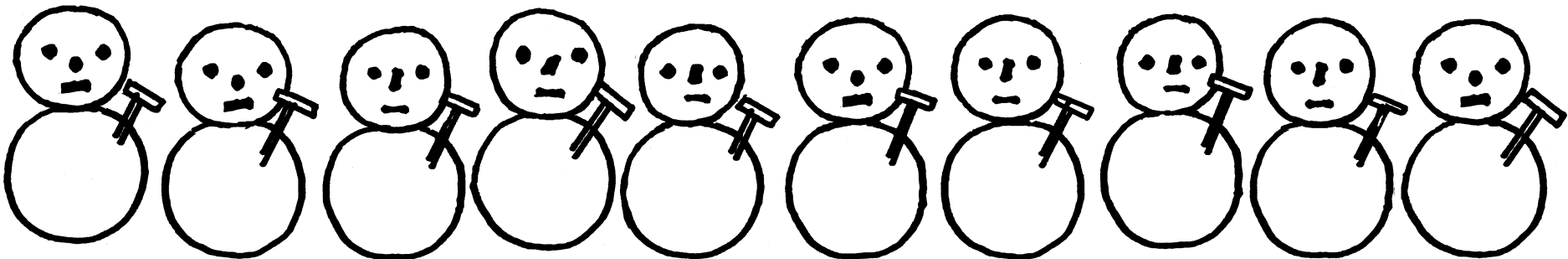
- 1) 折り線で折り、雪だるま(下)の面を表に出す。
- 2) 「雪だるまの頭」にバケツを1個ずつつかい、ぶせよつと、雪だるまの腹に玉を1つずつ置かせる。
- 3) 置いた玉をいったん紙面から外し、紙をひっくり返す。
- 4) 玉をバケツの上に置いて、置いたバケツを(赤く)塗る。

折る



たまをつかって、  
 ゆきだるまの かずだけ  
 バケツの かずを きめよう。

- 3) 紙を開き、塗ったバケツを雪だるまの頭に切り貼り。
  - a) 玉が計数の仲立ちをする。すなわち推移律(A=B=C)ならA=C)の[B]の働きを玉が果たす。
  - b) 数の理解の基本的な原理である推移律と1対1対応とを「リミテッド」な形で体験する。



Date /  
 Note  
 評

